

ガラス張りの運営へ みんなの声を届けます

「電気
通信共済会」
社員選挙

会員の利益守る「共済会」へ
11.19～投票開始

公約



北海道
東北

選挙区
在住

くどう いくお
工藤 郁夫

元NTT東日本一東北
JMITU通信産業本部（通信労組）
執行委員

● 北海道・東北選挙区在住の会員
(北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田
県、山形県、福島県)



■次の要求実現をめざします

- ①民主的でガラス張りの運営を求めます。
- ②給付内容の改善と、給付率の引き上げを求めます。
- ③非正規雇用労働者を正社員にし、安定した運営を会社責任で保障させます。
- ④「共済会」の個人会員本位の民主的運営をめざします。
- ⑤相互扶助部の適正運用による安定給付と役員報酬の適正化等を含めた健全運用を求めます。
- ⑥退職に伴う一時金支給は、元金を含めた積み立て利息保証を求める

信任

信頼できる候補者を
一人だけ選ぼう

2025年社員選挙の投票は11月19日から12月11までの期間で行われます。

2015年社員選挙から実施されている候補者番号ごとに信任・不信を選択する方式は、定数分まで投票することができるため、組織票が最も有利に働く制度です。2013年社員選挙の一人だけを記名する方式に比べて公平性を欠く選挙方法です。

定数分を信任とするのではなく、信頼できる一人だけを「信任」としても無効にはなりません。立候補者の中から「信任は一人だけ」の投票をすべての会員のみなさんに呼びかけます。

JMITU通信産業本部(通信労組)

〒156-0043 東京都世田谷区松原3-41-15 NTT松沢別館2F 連絡先03-5355-7931 FAX03-5355-7930

なんでも相談
ホット・ライン



NTTグループで働く皆さん
お気軽に、ご相談ください。

信任をお願いします!



給付

給付率や給付内容を
下げることのないように

- 老後の夫婦2人にかかる生活費は月額23.2万円が最低限必要とされ、ゆとりある生活には37.9万円としています(生命保険文化センター「2022年生活保障に関する調査」)。
 - 政府が「100年安心」といって年金額の伸びを抑制するマクロ経済スライドを導入して以降、20年で公的年金の給付水準は実質約1割削減されました。
 - 物価上昇に賃金の伸びが追いつかず、さらに家計所得の3割を社会保険料と税が占めています。
 - 高齢者、現役労働者、青年などの世代を問わず、現在の生活苦、将来への不安が募っています。
 - こうした社会環境のもとでは会員を助け援助するための共済会制度を、会員に目を向けた健全な事業運営しなければなりません。

運営

**個人会員の声が反映される
個人会員本位の運営に向けて
奮闘します**

各地
から

各選挙区に立候補した 通信労組推薦候補へ

各候補者は、6項目の「公約」を掲げ当選をめざしています。みなさんからの信任をお願いします。

- ・北海道・東北選挙区 「工藤 郁夫」さん
 - ・北関東・信越選挙区 「高杉 辰男」さん
 - ・南関東選挙区 「土方 春樹」さん
 - ・東京選挙区 「阿部 幸子」さん
 - ・北陸・東海選挙区 「大村 美恵」さん
 - ・近畿選挙区 「宇佐美 俊一」さん

2026年国民春闘 JMITU通信産業本部(通信労組)

働くみんなの 要求アンケート

くらしや職場の要求・不満をお寄せください。

契約社員



選舉

「社団法人電気通信共済会」社員選挙が9月8日に告示されました。

●投票期間

11月19日(水)～12月11日(木)

●投票は電子投票方式(*)

電気通信共済会から送られてくるはがきに記載された選挙専用サイトのURL、ID、パスワードをもとに、案内に従って投票してください。

投票方法は自身の所属する選挙区の立候補者個々に「信任」または「不信任」を選択します。

投票

選挙区の通信労組推薦の候補者
一人だけを投票(信任)して下さい。

パソコンや
スマホからの
電子投票です。(*)



(*) 8月18日までに電気通信共済会選挙管理委員会にたいし投票用紙の送付を依頼した方は郵便による投票です。

**大切な
一票を**

北海道・東北選挙区は

工藤 郁夫
さん
へい